産官学連携活動における利益相反申告

申告日（西暦）　　　　　　年　　　月　　　　日

城西大学・城西短期大学

利益相反管理委員会委員長　殿

申告者（責任者）

所　属　○○学部

職　名　教授

氏　名　○○　○○

産官学連携活動（研究以外）の実施に際し、当該活動の成果に対して利害が想定される企業・団体等との利益相反状況を下記の通り申告します。下記以外に申告が必要な事実はありません。

|  |  |
| --- | --- |
| 課題名 |  |
| 責任者 | 所　属　○○学部職　名　教授氏　名　○○　○○ |
| 分担者 | 所　属　○○学部職　名　准教授氏　名　○○　○○ |
| 関連企業・団体名 |  |
| 産官学連携活動の内容 | □資料添付□概要を下記に記載 |

〈記載における注意〉

* 上記課題と関連がない企業・団体等との利益関係については記載不要です。
* 申告日から起算して過去1年間および今後受領するもの（受講見込みを含む）を対象とします。

（赤字は例文です。適宜削除してください）

Ⅰ．申告者本人（責任者）および申告者家族（教職員と生計を同じにする配偶者および一親等の者）の利益相反申告

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 確認事項 | 申告者 | 申告者家族 | 適用（有の場合記載） |
| 1 | 企業等における役員、顧問職で、かつ年間100万円以上の報酬等を得た。 | □有□無　 | □有□無　 | 該当者：□申告者・□家族（　親　）企業・団体名：㈱○○○役割：役員、顧問金額：約　　120万円／年 |
| 2 | 企業等に係る1社につき年間100万円以上の特許権使用料報酬を得た。 | □有□無　 | □有□無　 | 該当者：□申告者・□家族（　配偶者　）企業・団体名：金額：約　　　　　　万円／年 |
| 3 | 企業等の株を保有し、かつ1社からの株式による年間利益（配当、売却益の総和）を100万円以上得た。あるいは当該全株式の5％以上保有している。 | □有□無　 | □有□無　 | 該当者：□申告者・□家族（　子ども　）企業・団体名：種類：公開株（100株）、未公開株（発行株総数の8％） |
| 4 | 企業等との受託・共同研究等による、1社につき年間100万円以上の研究費提供を得た（申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金とする）。 | □有□無　 |  | 企業・団体名：金額：約　　　　　　万円／年 |
| 5 | 企業等から申告者個人または申告者所属講座・研究室に対する1社につき年間100万円以上の奨学（奨励）寄附金を得た（申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金とする）。 | □有□無　 |  | 企業・団体名：金額：約　　　　　　万円／年 |
| 6 | 企業等に係る活動による1社につき年間50万円以上のその他報酬を得た（発表、指導助言、原稿料、講演料等）。 | □有□無　 |  | 企業・団体名：内容：原稿料、顧問料、講演料金額：約　　　　　　万円／年 |
| 7 | 企業等が提供する寄附講座への所属（申告者が実質的に使途を決定し得る寄付金の総額が100万円以上のものとする） | □有□無　 |  | 企業・団体名：寄付講座の名称： |
| 8 | 企業等から所属部局への客員研究員・大学院生など受入れ（申告者が所属し、研究経費を共有する講座・分野、あるいは研究室等への受け入れがあった場合について）。 | □有□無　 |  | 企業・団体名：□客員研究員　　　　名□大学院生　　　　　名 |
| 9 | その他、研究課題に直接関係しない1社について年間5万円以上の報酬（旅行、贈答品等）を得た。 | □有□無　 | 　 | 企業・団体名：内容：金額：約　　　　　　万円／年 |

Ⅱ．その他、申告が必要な事項　　※必要に応じて記載してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 申告該当者 | 企業・団体名 | 適用（　具体的内容・金額等を記載　） | 備考 |
| 1 | □申告者□家族（　　　　　　　　） |  |  |  |
| 2 | □申告者□家族（　　　　　　　　） |  |  |  |
| 3 | □申告者□家族（　　　　　　　　） |  |  |  |